

4 栃木県への愛着と誇りについて

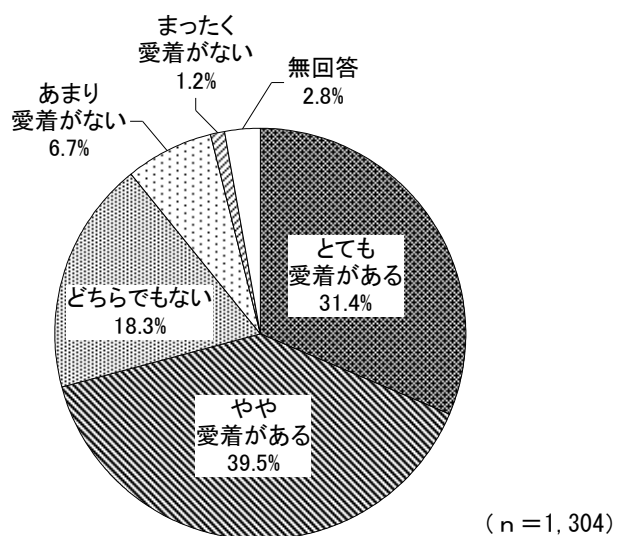
(1) 栃木県に対する愛着

問9 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。

次の中から1つ選んでください。

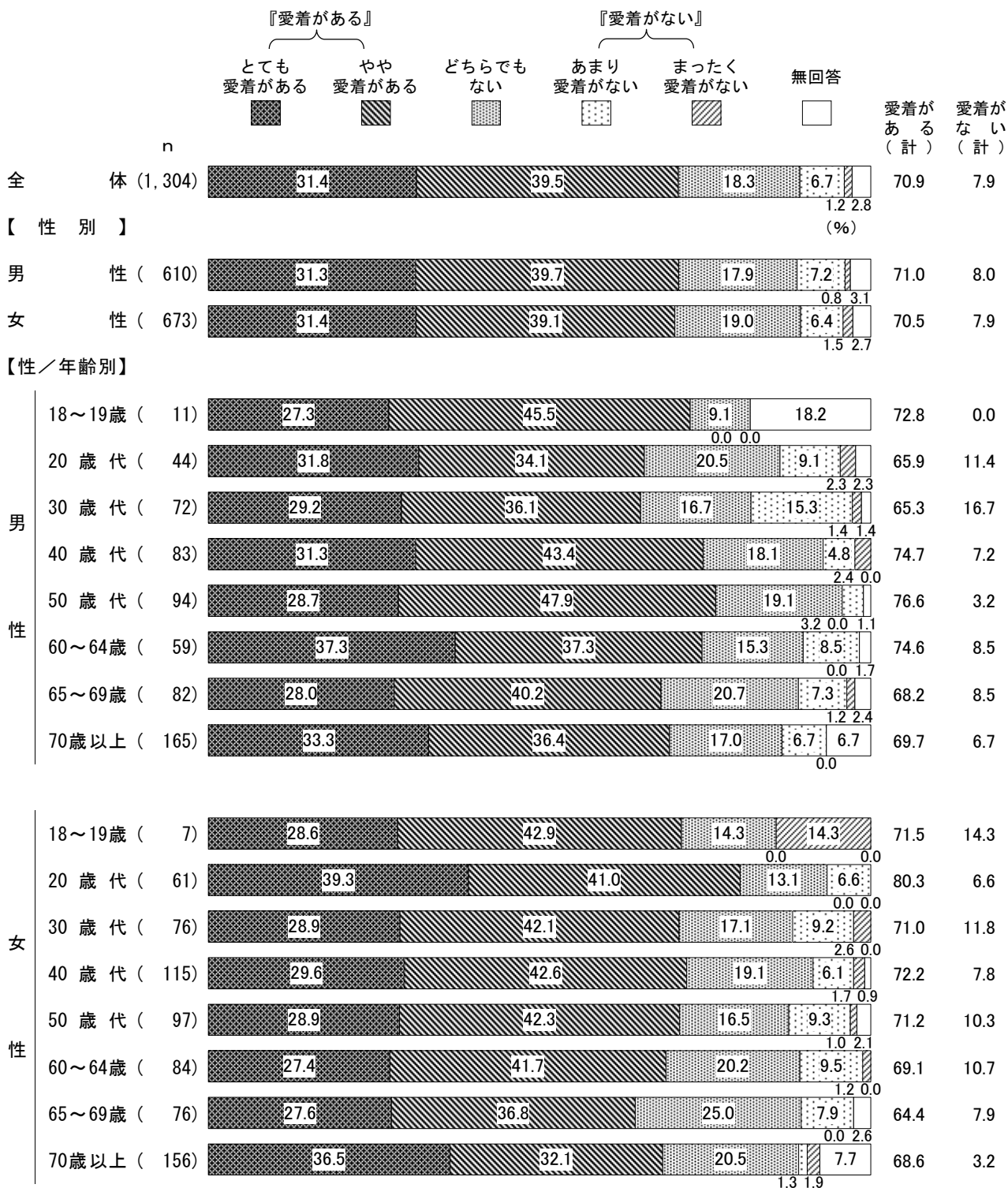
[n=1,304]

1	とても愛着がある	31.4%	4	あまり愛着がない	6.7%
2	やや愛着がある	39.5%	5	まったく愛着がない	1.2%
3	どちらでもない	18.3%		(無回答)	2.8%



全体で見ると、「とても愛着がある」(31.4%)と「やや愛着がある」(39.5%)の2つを合わせた『愛着がある』(70.9%)はほぼ7割となっている。一方、「あまり愛着がない」(6.7%)と「まったく愛着がない」(1.2%)の2つを合わせた『愛着がない』(7.9%)は1割近くとなっている。また、「どちらでもない」(18.3%)は2割近くとなっている。

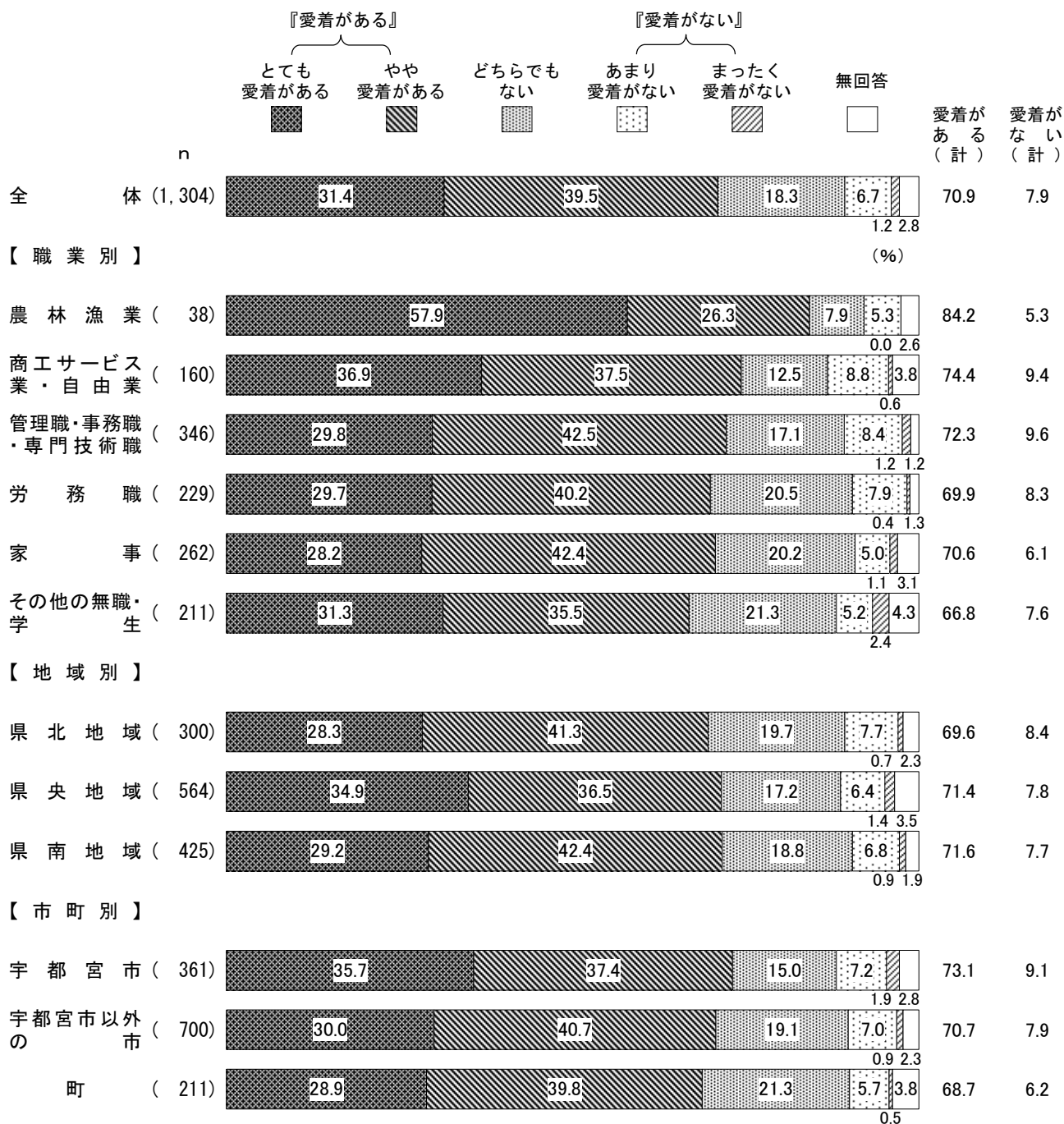
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「とても愛着がある」では〈女性20歳代〉が39.3%、〈男性60～64歳〉が37.3%と高くなっている。『愛着がある』では〈女性20歳代〉が80.3%と高くなっている。一方、『愛着がない』では〈男性30歳代〉が16.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「とても愛着がある」では〈農林漁業〉が57.9%と高くなっている。『愛着がある』では〈農林漁業〉が84.2%と高くなっている。

地域別で見ると、「とても愛着がある」では〈県央地域〉が34.9%と高くなっている。

市町別で見ると、「とても愛着がある」では〈宇都宮市〉が35.7%と高くなっている。

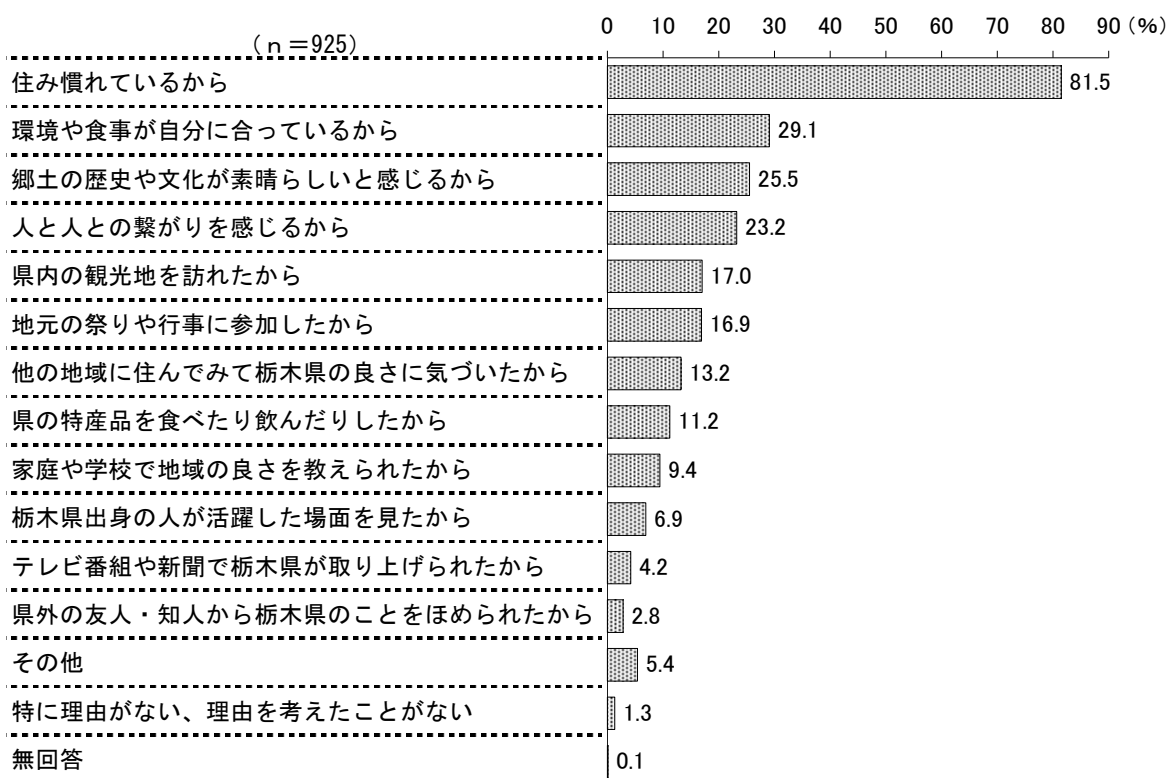
(1-1) 栃木県に愛着を感じる理由

(問9で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問9-1 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

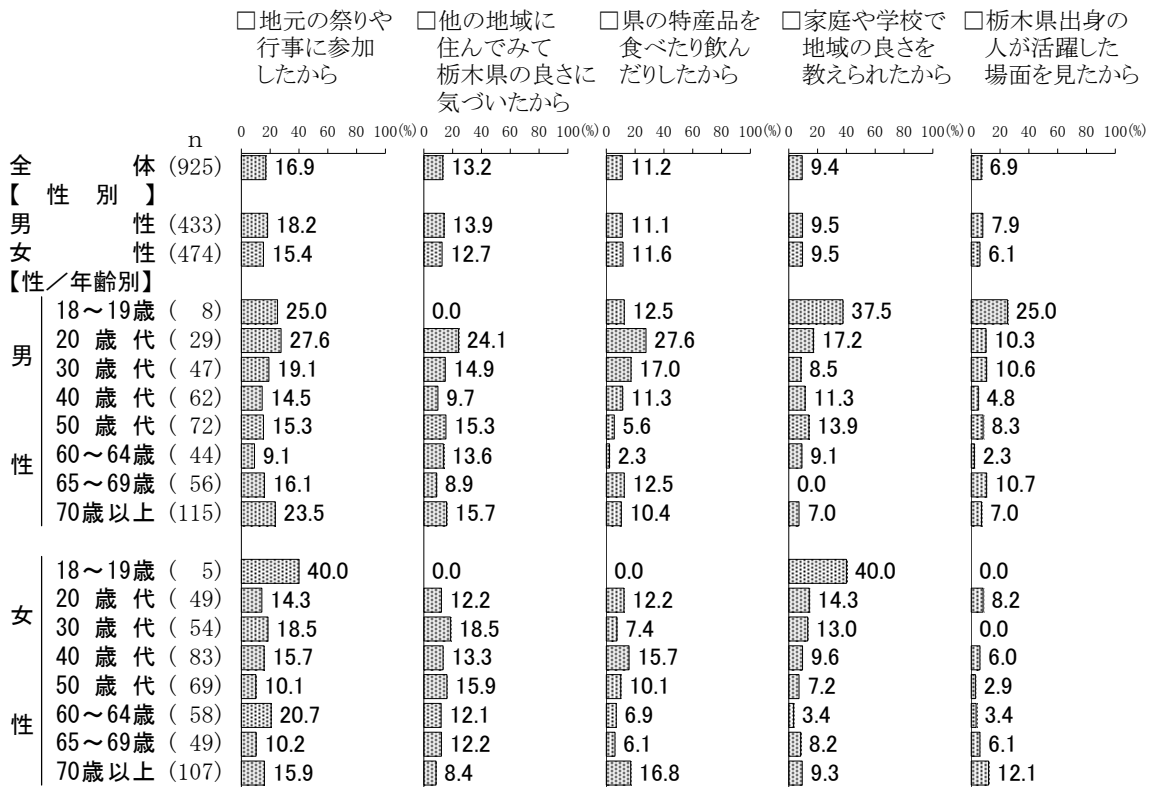
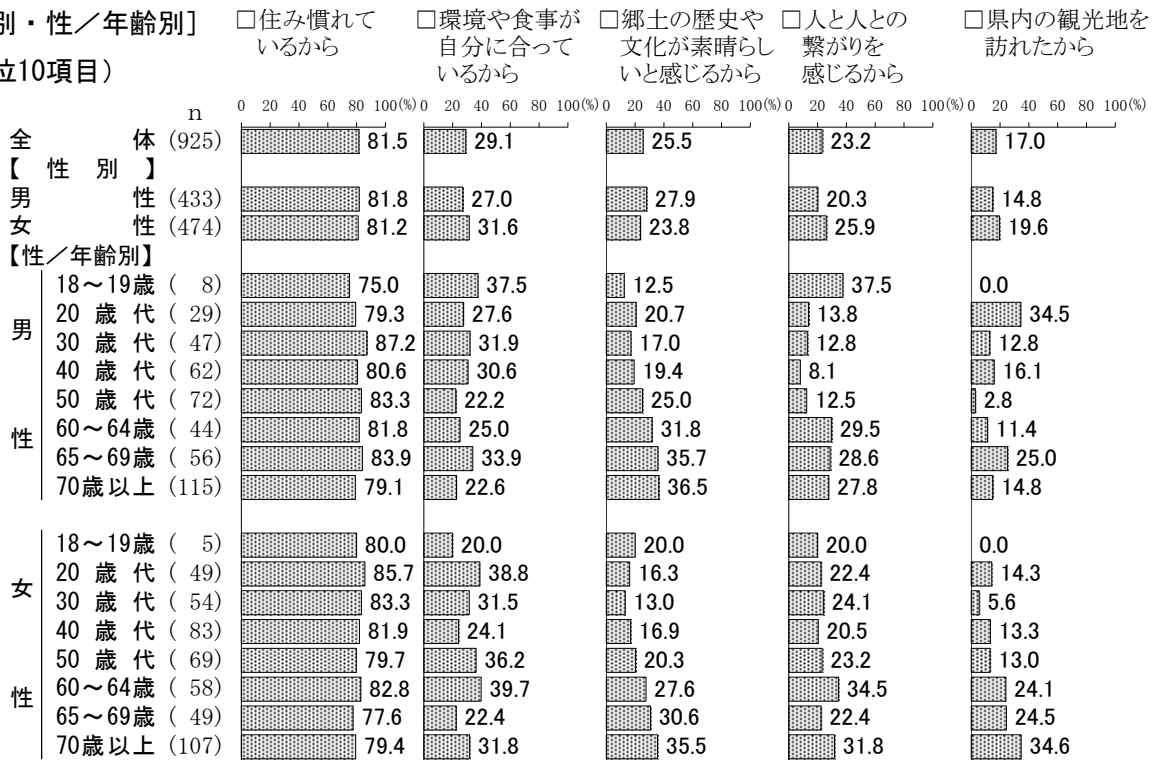
[n=925]

1	地元の祭りや行事に参加したから	16.9%
2	家庭や学校で地域の良さを教えられたから	9.4
3	郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	25.5
4	他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから	13.2
5	住み慣れているから	81.5
6	人と人との繋がりを感じるから	23.2
7	環境や食事が自分に合っているから	29.1
8	テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから	4.2
9	県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから	2.8
10	県内の観光地を訪れたから	17.0
11	県の特産品を食べたり飲んだりしたから	11.2
12	栃木県出身の人が活躍した場面を見たから	6.9
13	その他	5.4
14	特に理由がない、理由を考えたことがない (無回答)	1.3 0.1



全体で見ると、「住み慣れているから」(81.5%)が8割を超えて最も高く、次いで「環境や食事が自分に合っているから」(29.1%)、「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」(25.5%)、「人と人との繋がりを感じるから」(23.2%)、「県内の観光地を訪れたから」(17.0%)、「地元の祭りや行事に参加したから」(16.9%)の順となっている。

【性別・性／年齢別】
（上位10項目）

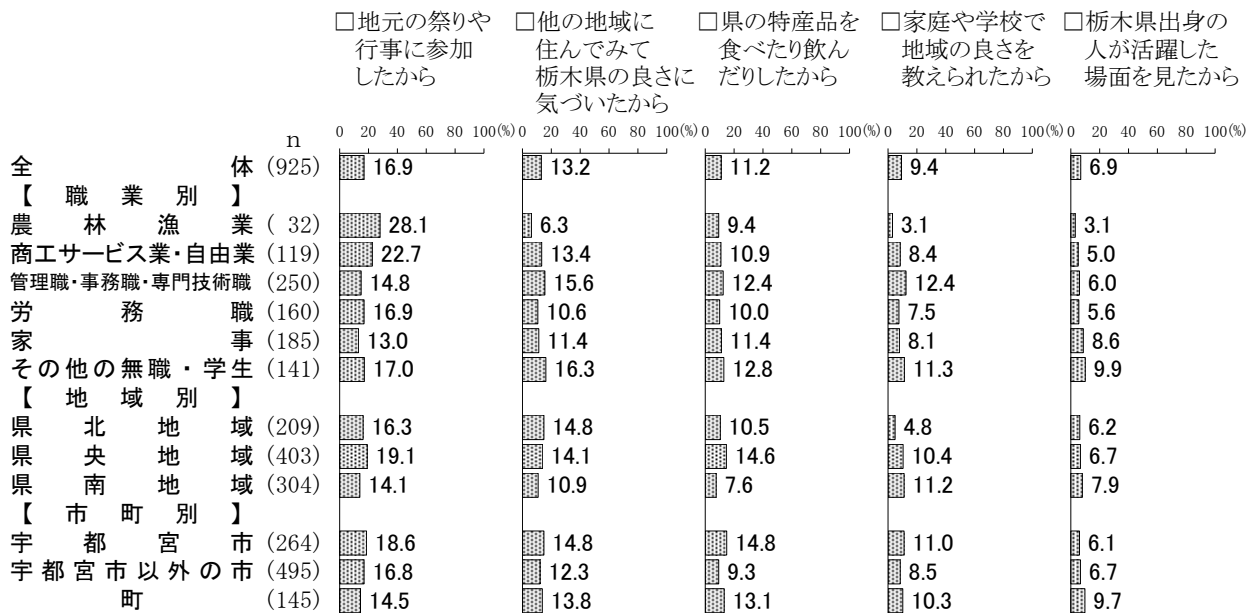
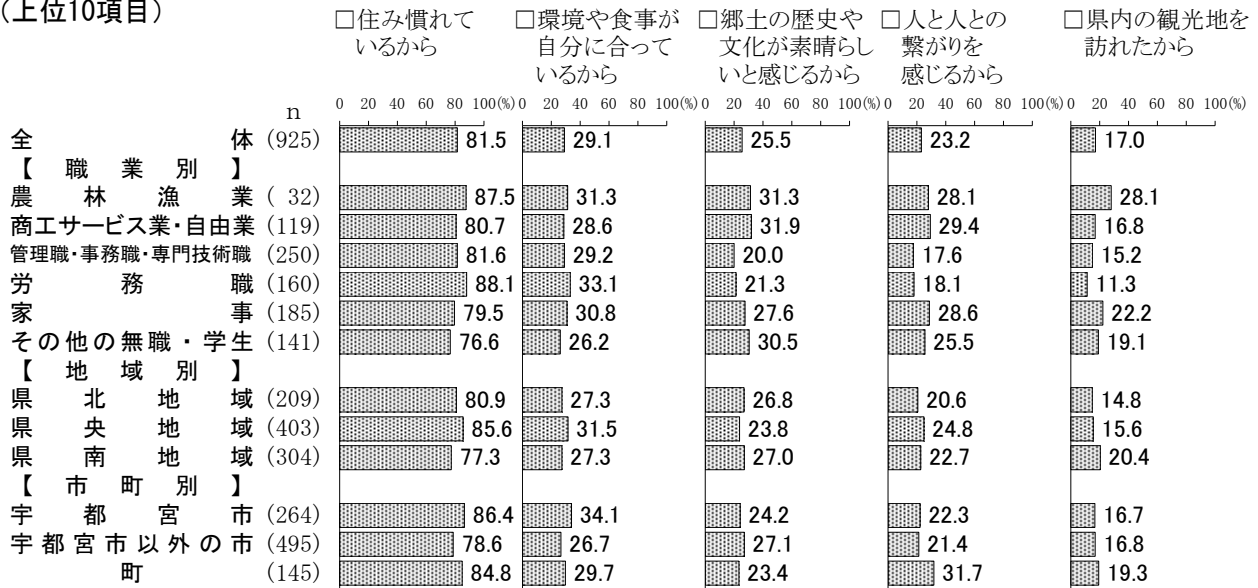


性別でみると、「人と人との繋がりをを感じるから」では〈女性〉(25.9%)が〈男性〉(20.3%)より5.6ポイント高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性〉(19.6%)が〈男性〉(14.8%)より4.8ポイント高くなっている。「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性〉(31.6%)が〈男性〉(27.0%)より4.6ポイント高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈男性〉(27.9%)が〈女性〉(23.8%)より4.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性60～64歳〉が39.7%、〈女性20歳代〉が38.8%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈男性70歳以上〉が36.5%、〈男性65～69歳〉が35.7%、〈女性70歳以上〉が35.5%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性70歳以上〉が34.6%、〈男性20歳代〉が34.5%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別でみると、「住み慣れているから」では〈労務職〉が88.1%、〈農林漁業〉が87.5%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈農林漁業〉が28.1%と高くなっている。「地元祭りに参加したから」では〈農林漁業〉が28.1%と高くなっている。

地域別でみると、「住み慣れているから」では〈県央地域〉が85.6%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈県南地域〉が20.4%と高くなっている。

市町別でみると、「住み慣れているから」では〈宇都宮市〉が86.4%、〈町〉が84.8%と高くなっている。「環境や食事が自分に合っているから」では〈宇都宮市〉が34.1%と高くなっている。「人と人との繋がりをを感じるから」では〈町〉が31.7%と高くなっている。

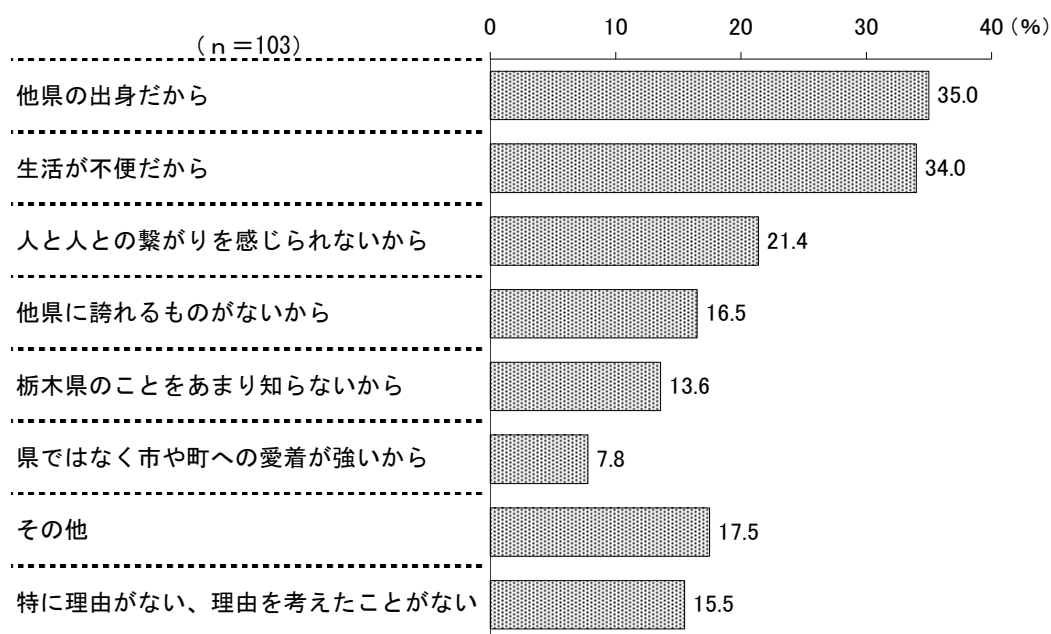
(1-2) 栃木県に愛着を感じない理由

(問9で選択肢「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」を選んだ方のみお答えください)

問9-2 あなたが愛着を感じない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=103]

1 他県に誇れるものがないから	16.5%
2 栃木県のことをあまり知らないから	13.6
3 県ではなく市や町への愛着が強いから	7.8
4 生活が不便だから	34.0
5 人と人との繋がりを感じられないから	21.4
6 他県の出身だから	35.0
7 その他	17.5
8 特に理由がない、理由を考えたことがない	15.5



全体でみると、「他県の出身だから」(35.0%)と「生活が不便だから」(34.0%)がともに3割半ばで高く、次いで「人と人との繋がりを感じられないから」(21.4%)、「他県に誇れるものがないから」(16.5%)、「栃木県のことをあまり知らないから」(13.6%)の順となっている。

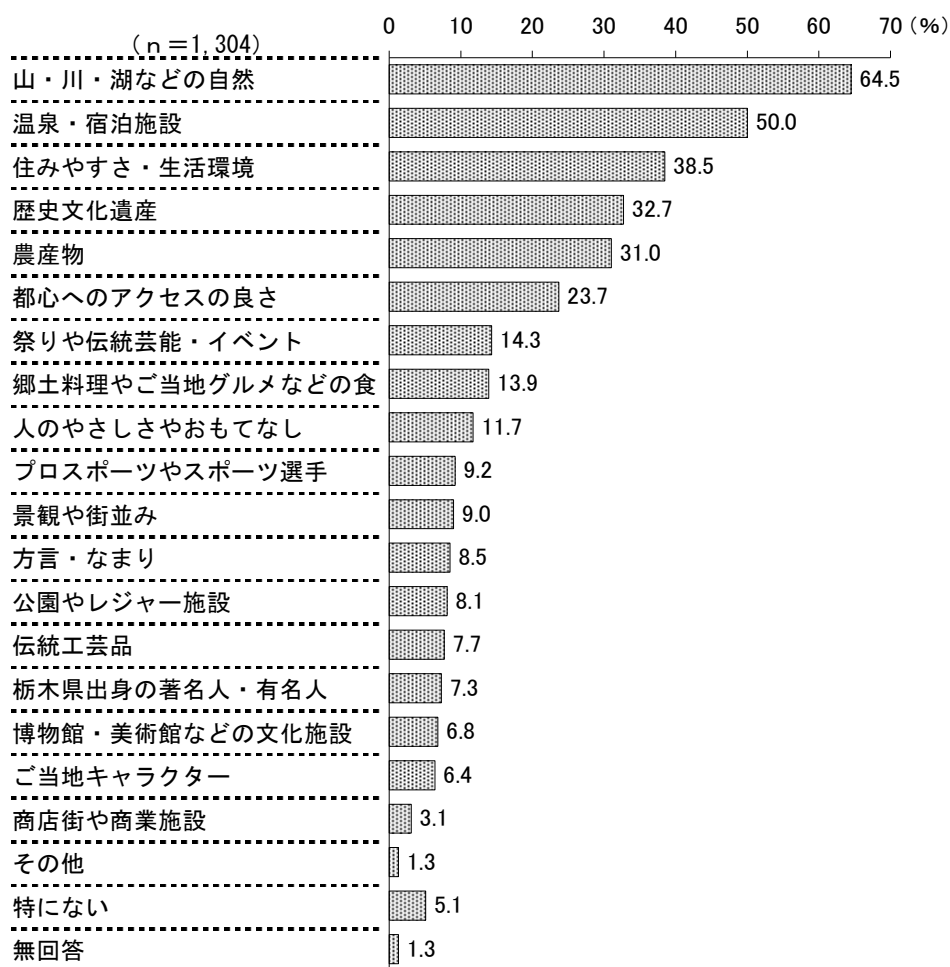
(2) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問10 あなたが栃木県の魅力あるものとして自慢できるものは何ですか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,304]

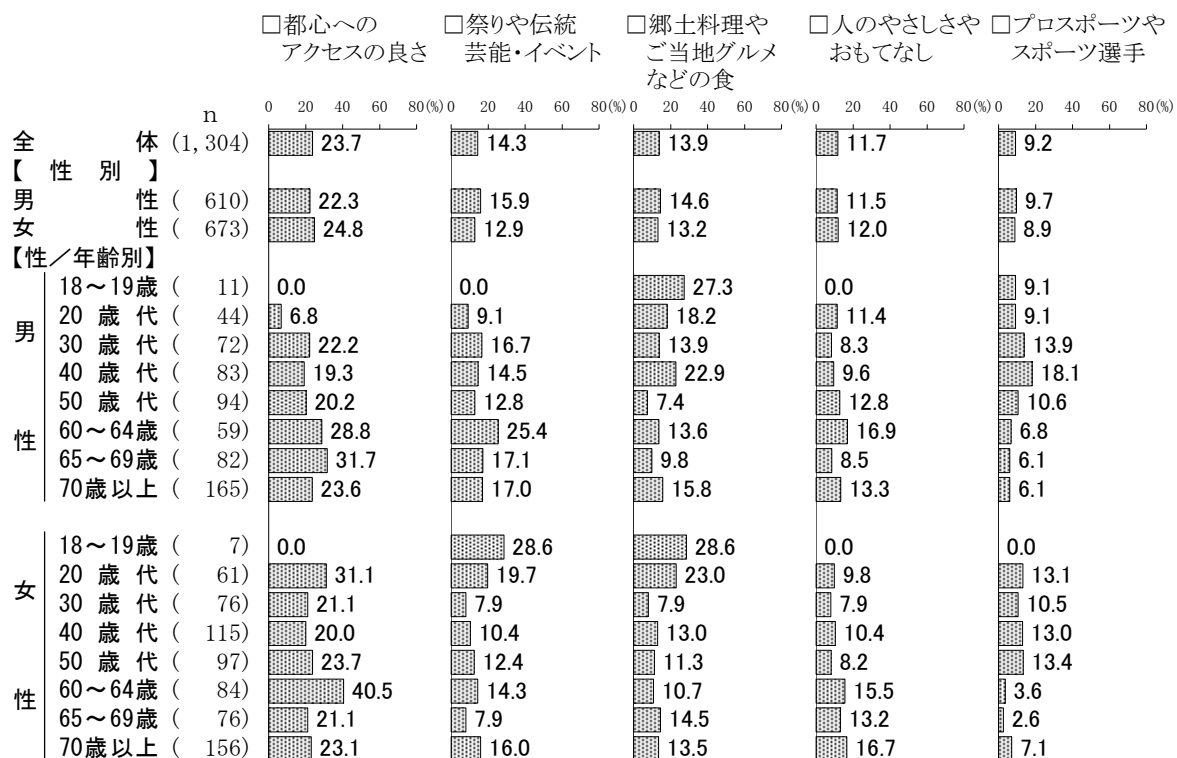
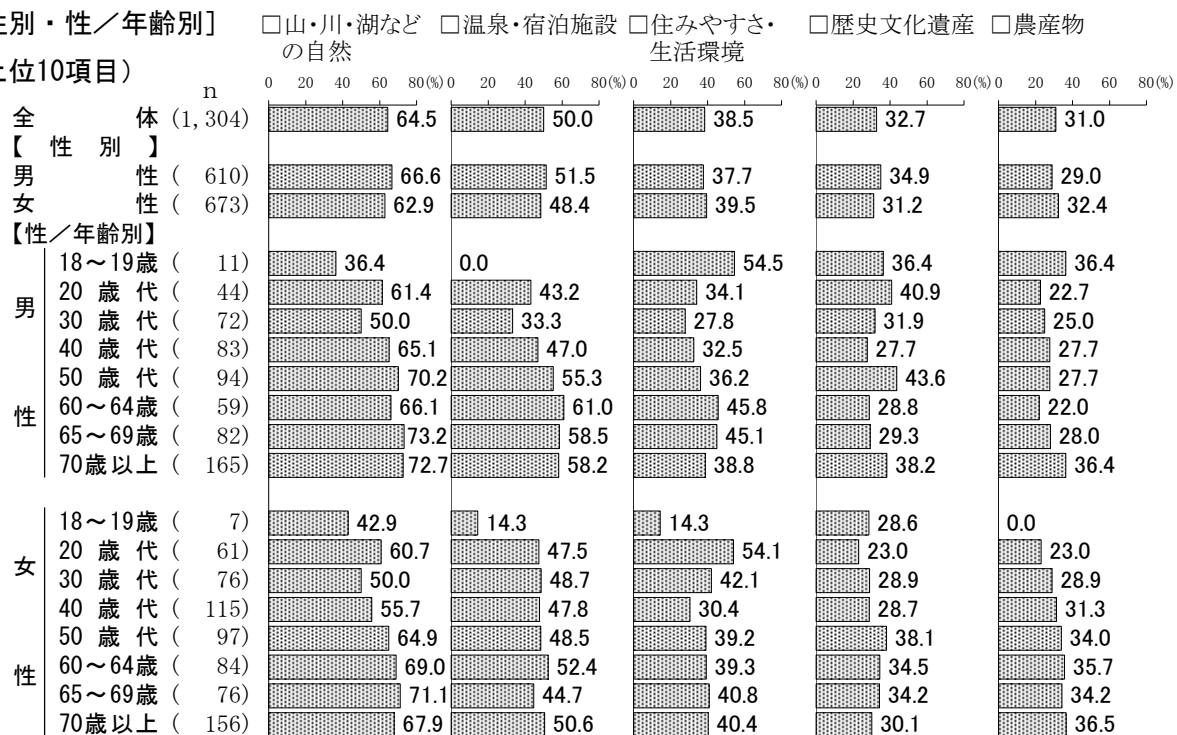
1	山・川・湖などの自然	64.5%	11	郷土料理やご当地グルメなどの食	13.9%
2	温泉・宿泊施設	50.0	12	人のやさしさやおもてなし	11.7
3	公園やレジャー施設	8.1	13	方言・なまり	8.5
4	商店街や商業施設	3.1	14	住みやすさ・生活環境	38.5
5	博物館・美術館などの文化施設	6.8	15	都心へのアクセスの良さ	23.7
6	祭りや伝統芸能・イベント	14.3	16	ご当地キャラクター	6.4
7	景観や街並み	9.0	17	プロスポーツやスポーツ選手	9.2
8	歴史文化遺産	32.7	18	栃木県出身の著名人・有名人	7.3
9	伝統工芸品	7.7	19	その他	1.3
10	農産物	31.0	20	特にない	5.1
				(無回答)	1.3



全体でみると、「山・川・湖などの自然」(64.5%)が6割半ばで最も高く、次いで「温泉・宿泊施設」(50.0%)、「住みやすさ・生活環境」(38.5%)、「歴史文化遺産」(32.7%)、「農産物」(31.0%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

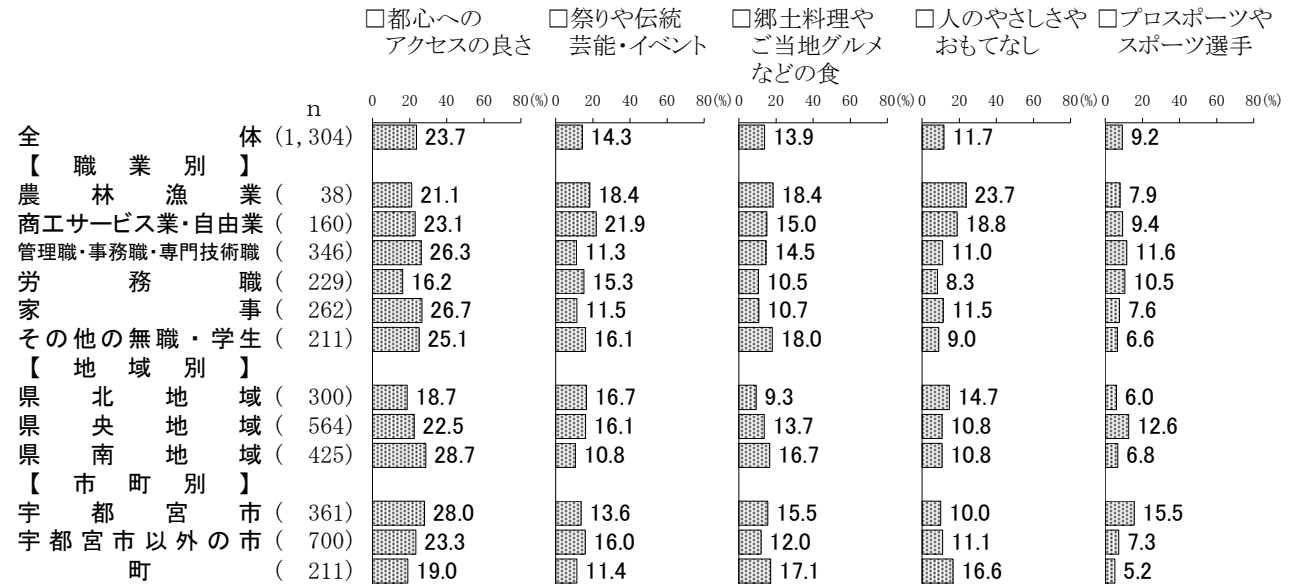
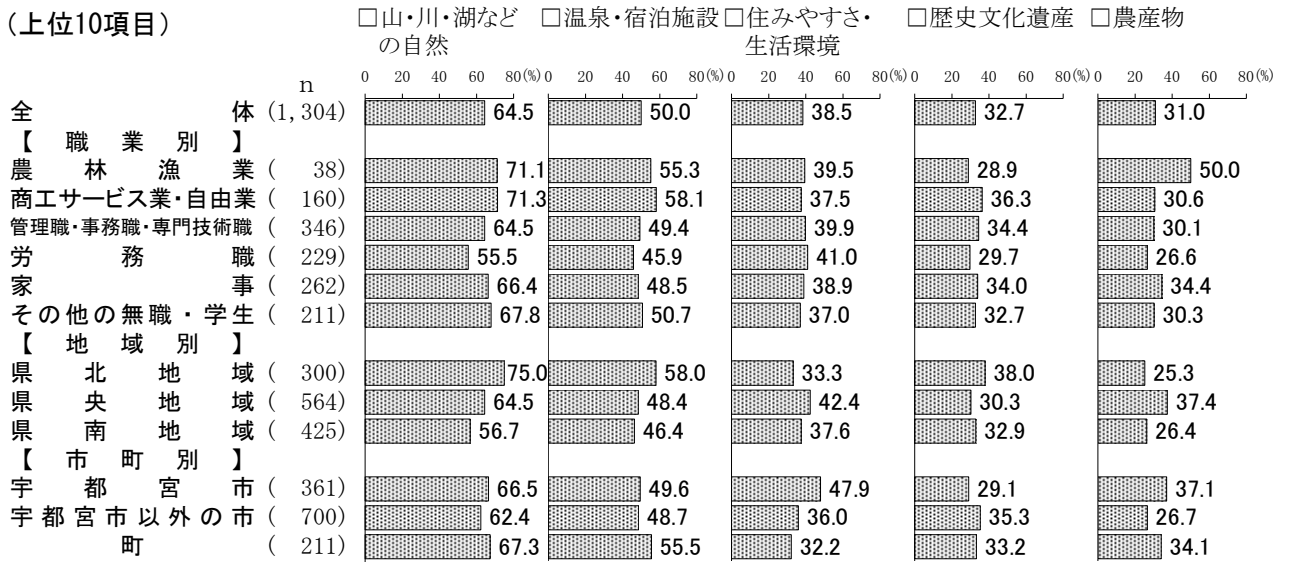


性別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈男性〉(66.6%)が〈女性〉(62.9%)より3.7ポイント高くなっている。「歴史文化遺産」では〈男性〉(34.9%)が〈女性〉(31.2%)より3.7ポイント高くなっている。「農産物」では〈女性〉(32.4%)が〈男性〉(29.0%)より3.4ポイント高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈男性〉(51.5%)が〈女性〉(48.4%)より3.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈男性65~69歳〉が73.2%、〈男性70歳以上〉が72.7%、〈女性65~69歳〉が71.1%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈男性60~64歳〉が61.0%と高くなっている。「住みやすさ・生活環境」では〈女性20歳代〉が54.1%と高くなっている。「歴史文化遺産」では〈男性50歳代〉が43.6%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈女性60~64歳〉が40.5%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「山・川・湖などの自然」では〈商工サービス業・自由業〉が71.3%、〈農林漁業〉が71.1%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈商工サービス業・自由業〉が58.1%と高くなっている。「農産物」では〈農林漁業〉が50.0%と高くなっている。

地域別で見ると、「山・川・湖などの自然」では〈県北地域〉が75.0%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈県北地域〉が58.0%と高くなっている。「住みやすさ・生活環境」では〈県央地域〉が42.4%と高くなっている。「歴史文化遺産」では〈県北地域〉が38.0%と高くなっている。「農産物」では〈県央地域〉が37.4%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈県南地域〉が28.7%と高くなっている。

市町別で見ると、「温泉・宿泊施設」では〈町〉が55.5%と高くなっている。「住みやすさ・生活環境」では〈宇都宮市〉が47.9%と高くなっている。「農産物」では〈宇都宮市〉が37.1%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈宇都宮市〉が28.0%と高くなっている。

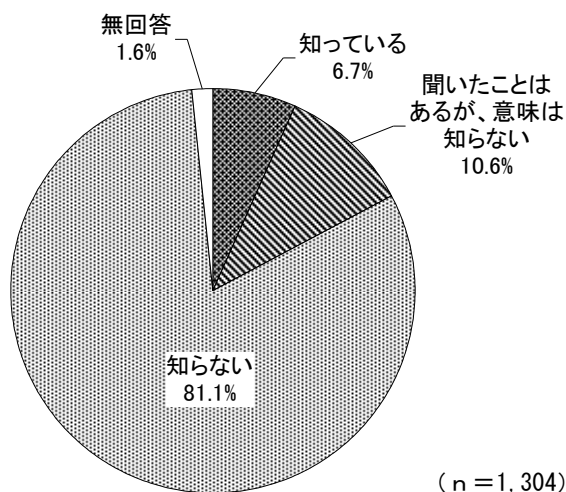
(3) 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」の認知度

問11 あなたは、「VERY GOOD LOCAL とちぎ(ベリー グッド ローカル とちぎ)」
(※) というキャッチフレーズを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※ 「VERY GOOD LOCAL とちぎ」とは、充実した都市機能とともに、豊かな自然、優れた歴史・文化、人と人とのつながりなど、「ローカル(地方)」の良さを兼ね備えた栃木県の魅力・実力を表現した、とちぎブランド推進のキャッチフレーズです。

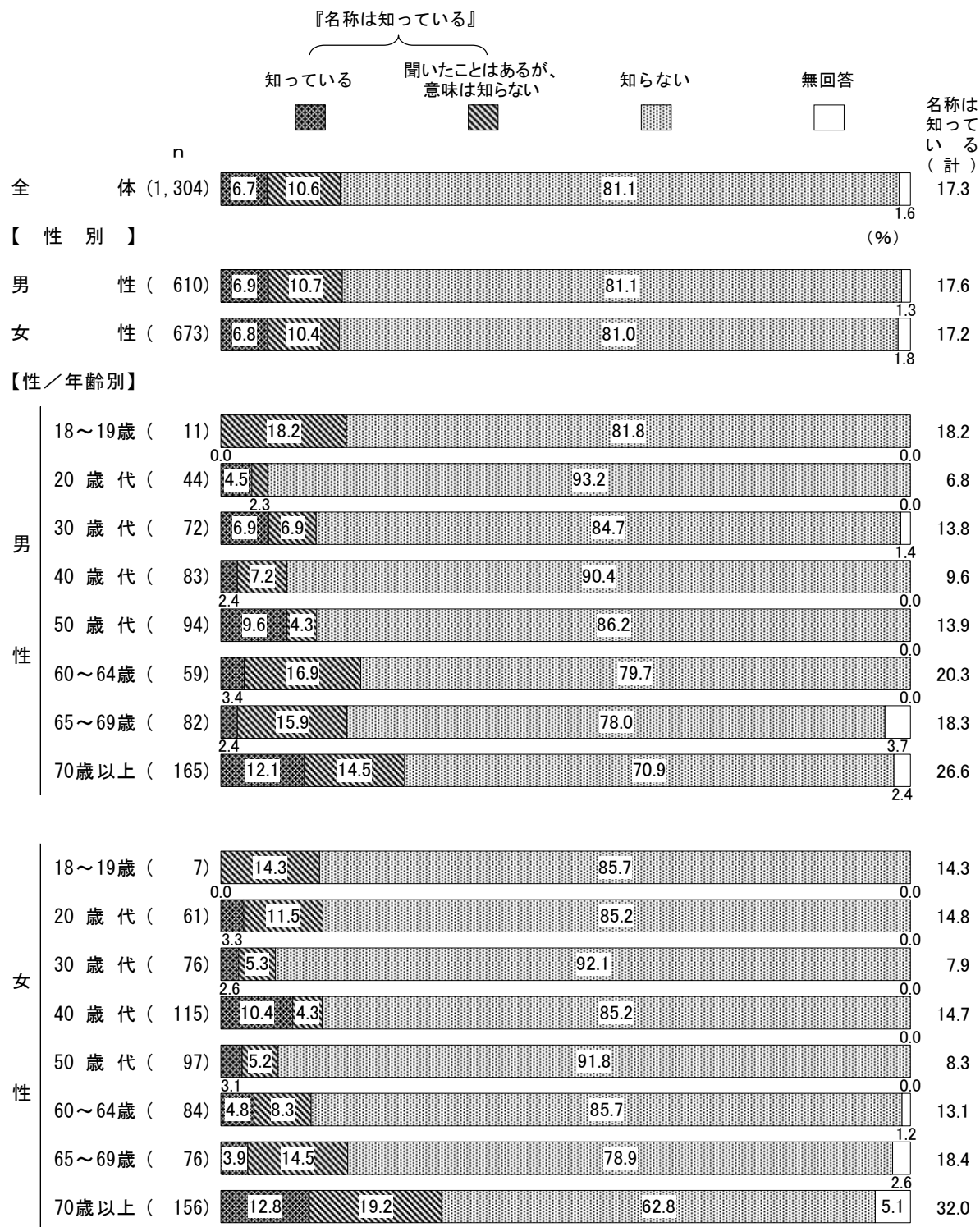
[n=1,304]

1 知っている	6.7%
2 聞いたことはあるが、意味は知らない	10.6
3 知らない	81.1
(無回答)	1.6



全体でみると、「知っている」(6.7%)と「聞いたことはあるが、意味は知らない」(10.6%)の2つを合わせた『名称は知っている』(17.3%)は2割近くとなっている。一方、「知らない」(81.1%)は8割を超えている。

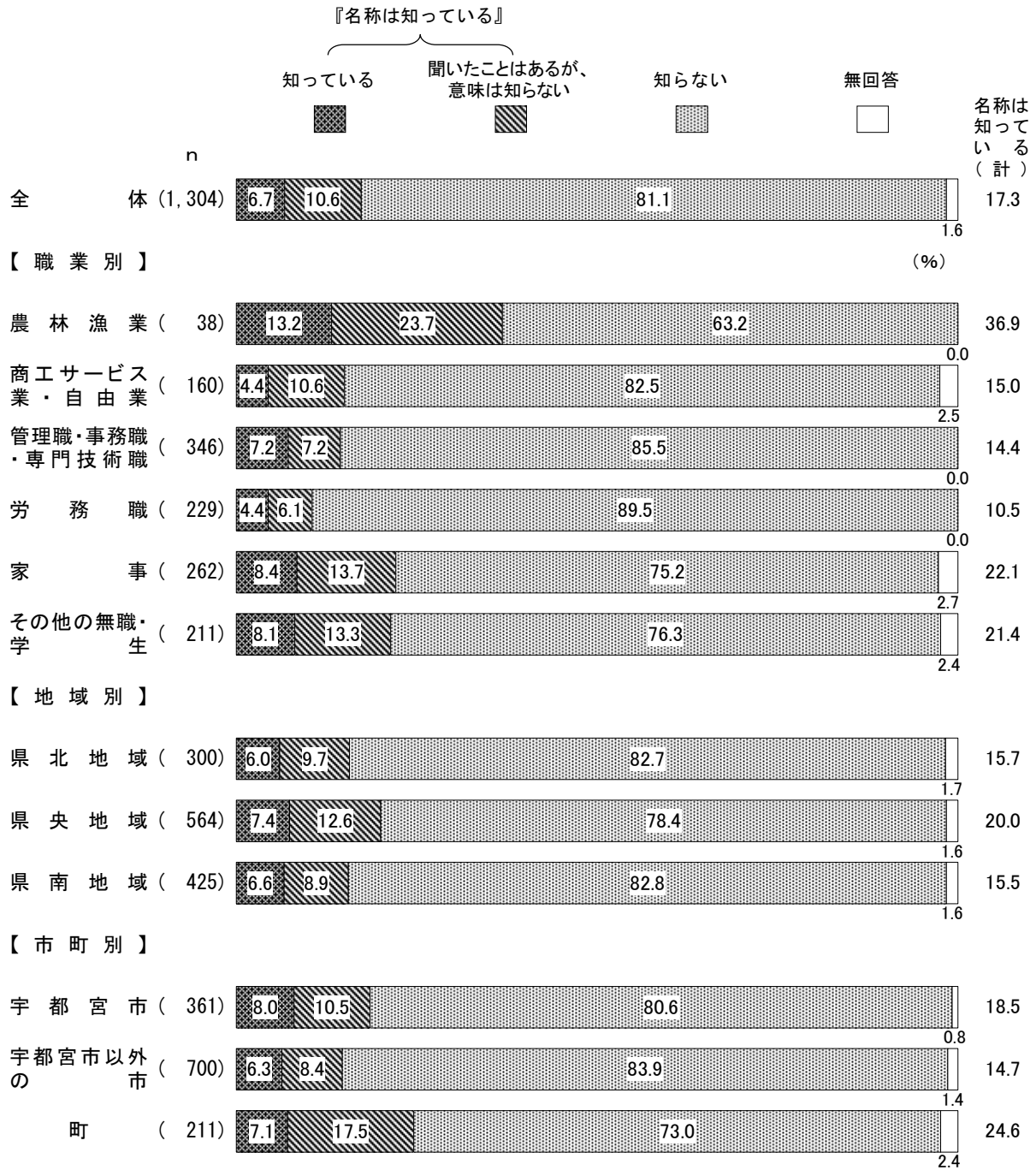
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「知っている」では〈女性70歳以上〉が12.8%、〈男性70歳以上〉が12.1%と高くなっている。『名称は知っている』では〈女性70歳以上〉が32.0%、〈男性70歳以上〉が26.6%と高くなっている。一方、「知らない」では〈男性20歳代〉が93.2%、〈女性30歳代〉が92.1%、〈女性50歳代〉が91.8%、〈男性40歳代〉が90.4%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「知っている」では〈農林漁業〉が13.2%と高くなっている。『名称は知っている』では〈農林漁業〉が36.9%と高くなっている。一方、「知らない」では〈労務職〉が89.5%と高くなっている。

地域別で見ると、『名称は知っている』では〈県央地域〉が20.0%と高くなっている。

市町別で見ると、『名称は知っている』では〈町〉が24.6%と高くなっている。一方、「知らない」では〈宇都宮市以外の市〉が83.9%と高くなっている。